

鳴門教育大学（９） 発問・学習課題作りにつなげる国語科教材研究

1 目的
文学教材、説明的文章教材などの教材分析の観点を知り、実際に教材分析を行うとともに、分析内容をもとにして発問や学習課題を構想することを通して、教材研究力と授業実践力の向上を図る。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第４期）との関連について

重点項目Ⅴ－推進項目１５－③④教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○授業力・学習指導「Ｂ 授業構想力」「Ｃ 授業実践力」「Ｄ 授業省察力・

改善力」

2 主催
鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期 日
令和６年８月２日（金）

4 会 場
鳴門教育大学 地域連携センター ２階 教授スキル演習室

5 対象者
(1) 職種 教職員
(2) 校種 小・中・高・中等・特
(3) 定員 ２０名

6 内 容
(1) 国語科教材研究の観点と方法
(2) 文学教材の教材研究の実際
(3) 説明的文章教材の教材研究の実際

7 講 師
鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 国語科教育コース 教授 幾田 伸司

8 日 程
9：30～9：50 受付（地域連携センター ２階 教授スキル演習室）
9：50～10：00 開会、諸連絡
10：00～11：00 講義「国語科教材研究の目的と観点」
内容 国語科教材研究の目的と観点について、講義を行

う。
11：00～12：00 演習「詩の教材研究」
内容 詩教材を対象とする教材研究を実際に行い、多様な
解釈を想定するための教材研究の方法を検討する。

12：00～13：00 昼食

13：00～14：20 演習「物語の教材研究」
内容 物語教材について、読みの深まりと多様性を想定す
るための教材研究の観点を踏まえて教材分析を行い、発問・学習課題を考える。

14：30～15：50 演習「説明的文章の教材研究」

内容 説明的文章教材について、論理構成や述べ方の工夫
に着目した教材研究の方法を検討し、発問・学習課題を考える。

15：50～16：00 アンケートについて、閉会

9 準備物
筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。）

10 その他
(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職員（緊急の場合は本人）が担当者ま
で電話連絡し、管理職員は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付
は、学校代表メールアドレスもしくは管理職員のメールアドレスから行うようにしてくだ
さい。欠席届の様式は、総合教育センターのWebサイトからダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】：徳島県立総合教育センター教職員研修課

E-mail：kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】：徳島県教育委員会体育健康安全課

E-mail：taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信
時に使用）、E-mail：taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（前記以外に使用）

(2) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。５月～１０月に実施する研修

についてはエコスタイル（夏はノー上着・ノーネクタイ等）で結構です。

（3）研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

（4）昼食は、近辺でとるか、各自でご用意ください。

（5）本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 川村 誠司 088-672-6419